



## もし、センターにいる時に災害が起きたら



### はじめに

当センターでは、東日本大震災を教訓に防災訓練の見直し、避難用具や備蓄品等の整備、強化を行ってきました。震災の被害が多い昨今、安心してセンターに受診してもらえるよう避難場所や防災用品等のご紹介をさせていただきます。

### 災害時の避難場所

災害時の避難場所です。万が一の事が起こりましたら、スタッフの誘導に従って行動してください。

#### ① 9階の集合場所…廊下非常階段前2カ所(図1★)

避難時には貴重品を持ち、スタッフの誘導に従って診療室から廊下非常階段前に集合(図2★)します。

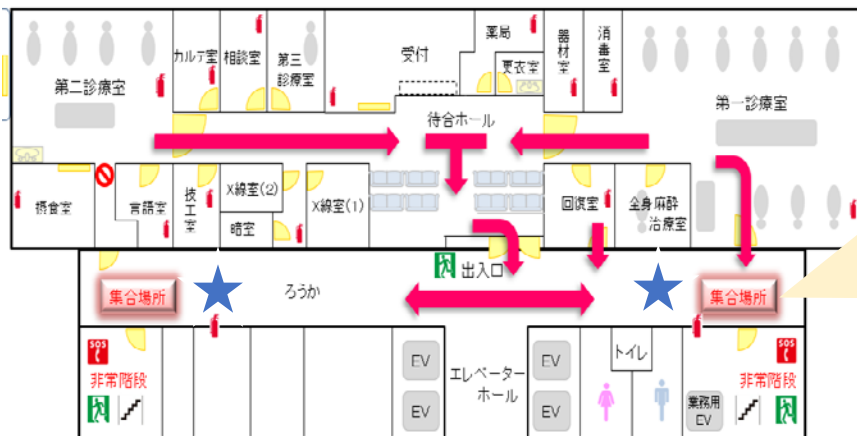


図1 9階見取り図



図2 9階集合場所

#### ②一時避難場所

ビルの管理センターから避難指示が出たら、非常階段(図3)を利用してビル2階にある、みやこ橋一時避難場所(図4★)に集合します。



図3 非常階段を利用して一時避難場所へ移動

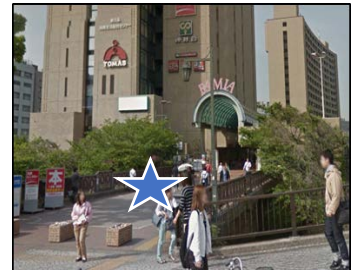


図4 一時避難場所

#### ③避難場所

当地区(新宿区神楽河岸)の最終避難場所は後楽園一帯(図5)です。防災関連機関の責任者から避難指示が出たら、避難を开始します。



図5 現在地および避難場所の後楽園一帯(新宿区避難場所標識より転載)

## 避難用具の紹介

当センターは診療室が9階にあるため、災害時、非常階段を使用して2階まで避難をしなくてはならない場合があるかもしれません。そのため、万が一エレベーターが止まった場合を考えた担架(図6.7)や階段でも使用できる車椅子(図8)を用意し、スタッフ全員が防災訓練(図9.10.11)を行い、地震や火事などの災害に備えています。



図6 キャリーマット®



図7 楽々ソフト担架®



図8 イーバックチェア®



図9 キャリーマット®を使用した防災訓練



図10 楽々ソフト担架®を使用した防災訓練



図11 イーバックチェア®を使用した防災訓練

## 防災用具の紹介



水・ご飯・缶詰め



離乳食・ミルク・お粥・オムツ



毛布

毛布、乾パン、離乳食、おかゆ、ミルク、紙おむつなどを備蓄しています。

## 避難誘導視覚支援



座りますカード



走りませんカード

視覚からの情報が入りやすい患者さんには言葉だけの説明ではなく絵カードを通して理解を促すようにします。

## さいごに

センターで診療をしている時に地震や火事などの災害が起こってしまった場合、患者さんをはじめ、保護者などの付き添いの方はあわてずに、近くにいるスタッフの指示に従って下さい。皆さんも、緊急時のご家族との連絡方法や、公共交通機関が止まってしまった場合の、帰宅方法の確認をし、万が一に備えましょう。